

棚田学会通信

第73号 目次	2024年6月17日発行
特集 棚田と水利	1
国宝・通潤橋と白糸棚田	2
鉄穴流しを利用した棚田	3
「切久保棚田」の隧道開削 先人達の偉業	5
戦前期におけるため池の築造・改修について	6
つなぐ棚田遺産に認定されて	7
事務局ニュース	8



国宝・通潤橋

特集：棚田と水利



白糸台地の棚田

令和5年9月25日に、熊本県山都町に所在する「通潤橋」が国宝に指定されました。通潤橋は、白糸台地に広がる棚田を潤す用水路の施設の一つで、このような土木構造物・水利施設が国宝に指定されるのは初めてのことです。それを記念しまして棚田学会通信第73号では、「棚田と水利」というテーマで特集を企画しました。多量の水を必要とする水田のまとまりである棚田は、水を確保するための苦難の歴史をもっている地域がたくさんあります。それぞれに異なる棚田と水利の歴史を見つめてみたいと思います。

(棚田学会編集委員会)